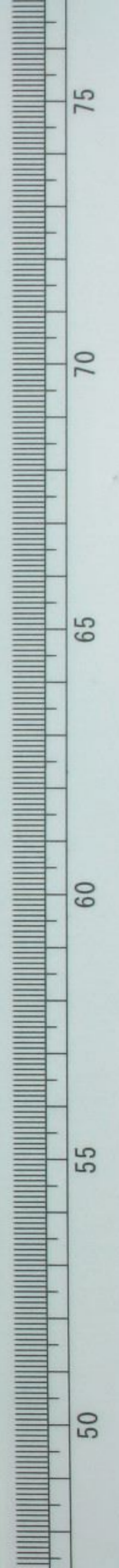




宇津保集物語

三ノ巻
卯辰

1849
5



但馬
仲實老衛門
湯嶋



宇津山小蝶物語 中み巻目録

心交なごう潤川

心と包消あり

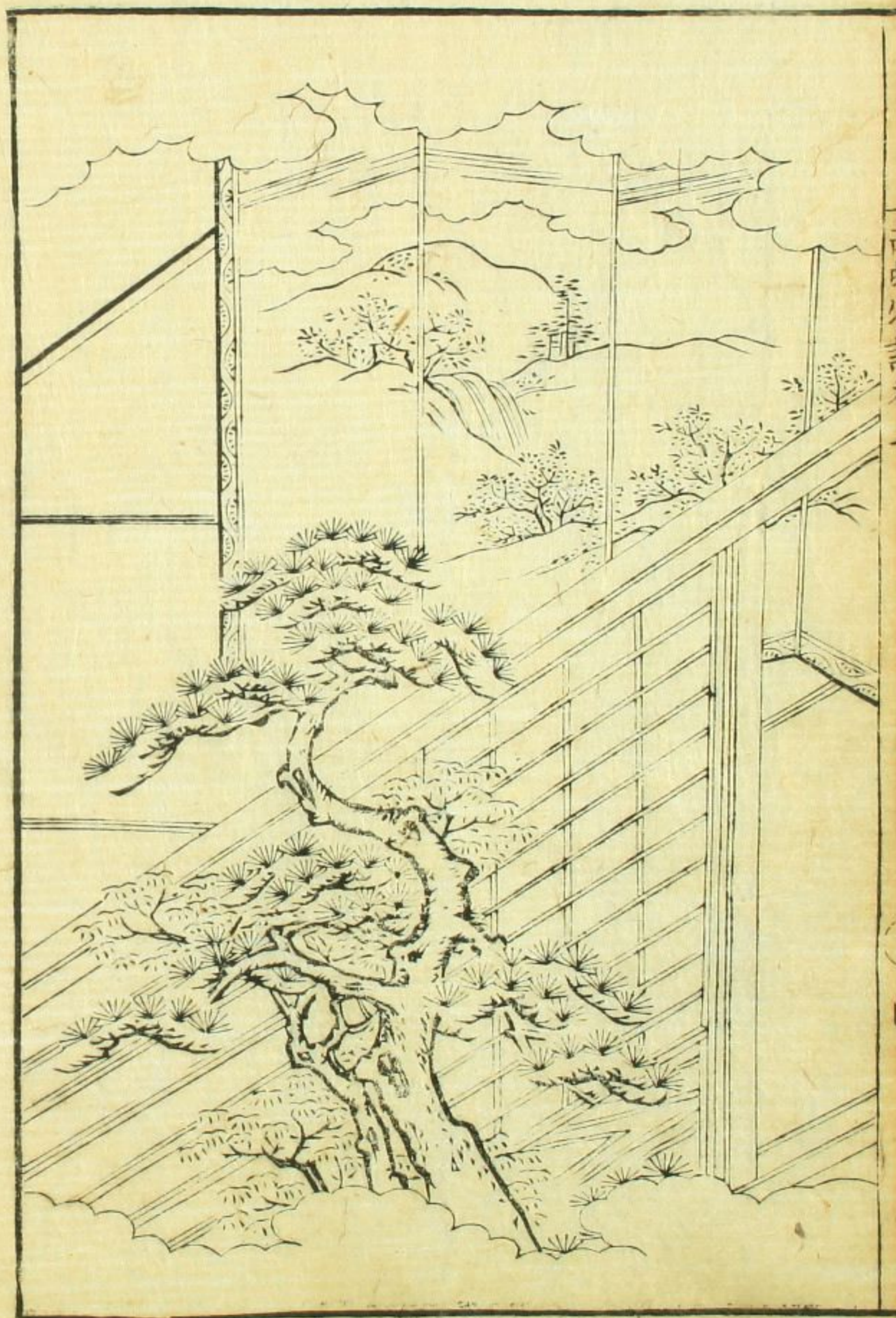
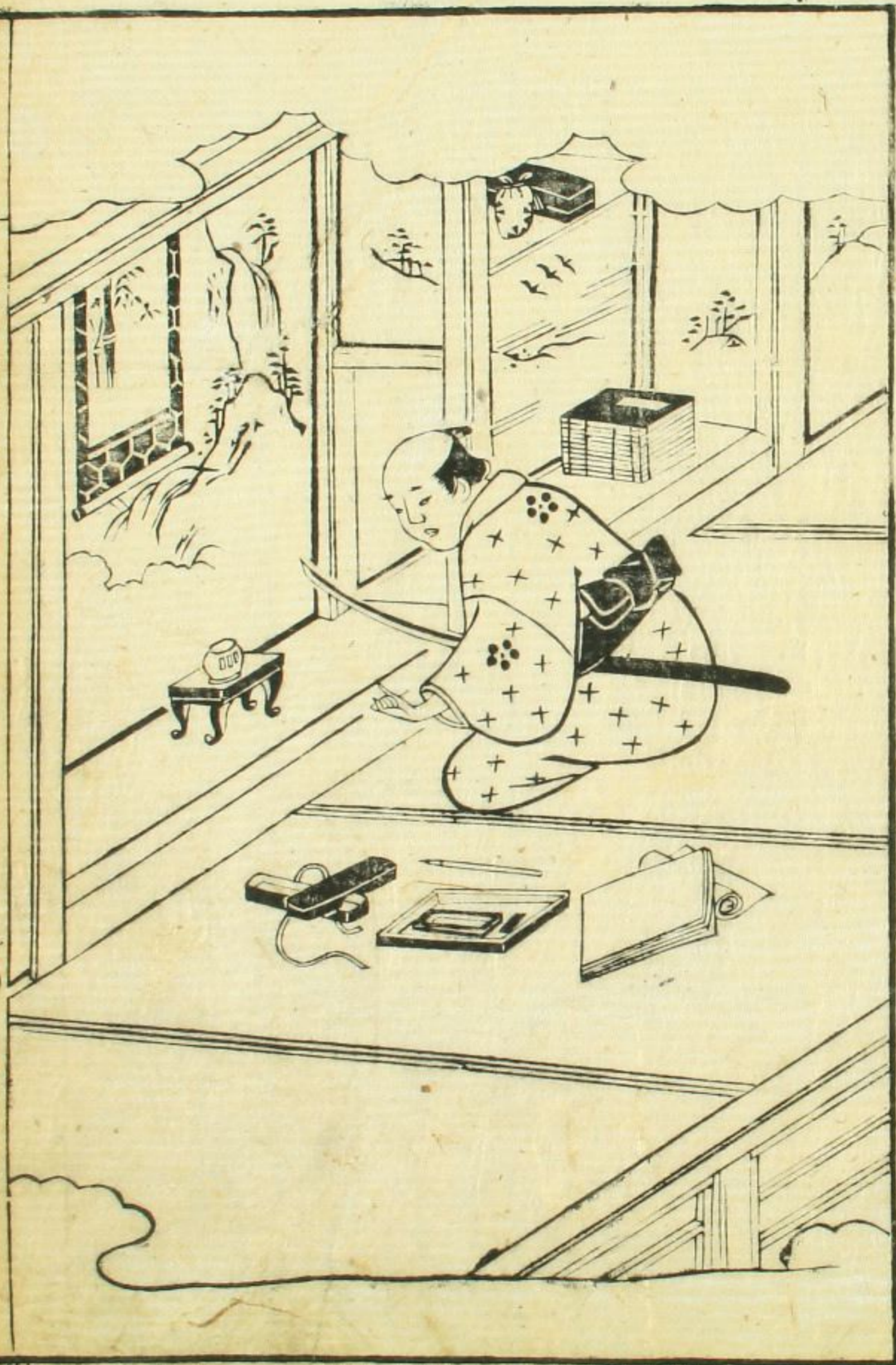
うけたぬるるにわんぬたし
まことと出ぬ月代
やもやと沖舟そよまのり

侍才乃占
好洗あいの禁部
一ふり清きぬ奇書

らずれわさうまーな
 老のあり 花鳥川 昔さしてゆくはつゆあつこ
 ちれい ちらぬ まありと何のつらねん
 とすく 雲彦く 軒月もさきくあり 暇をも
 心りそれと 慈風らふあつしうまにさぬあつく 深七
 油と名りして 何らあわぬ 極作よ及びまねとく 八
 羽ふあされと ぎんざり 急流うらり 杉並けり
 是し ちりより 花鳥のま 葦とまねてしける
 海入り けりやの物ゆひのさうら 神と後推
 登下さうら けりやの物ゆひのさうら 神と後推
 なるやとけり けりやの物ゆひのさうら 神と後推
 ころはの物ゆひのさうら 神と後推

ちのあり 花鳥川 昔さしてゆくはつゆあつこ
 ちれい ちらぬ まありと何のつらねん
 とすく 雲彦く 軒月もさきくあり 暇をも
 心りそれと 慈風らふあつしうまにさぬあつく 深七
 油と名りして 何らあわぬ 極作よ及びまねとく 八
 羽ふあされと ぎんざり 急流うらり 杉並けり
 是し ちりより 花鳥のま 葦とまねてしける
 海入り けりやの物ゆひのさうら 神と後推
 登下さうら けりやの物ゆひのさうら 神と後推
 なるやとけり けりやの物ゆひのさうら 神と後推
 ころはの物ゆひのさうら 神と後推

ちのあり
 ちのあり



我々の心はひびきわたるの如くすべからぬ心は
わが心はひびきわたるの如くすべからぬ心は
もまはるる心はひびきわたるの如くすべからぬ心は
いひぬきわたるの如くすべからぬ心は
そまはるる心はひびきわたるの如くすべからぬ心は
おまはるる心はひびきわたるの如くすべからぬ心は
にまはるる心はひびきわたるの如くすべからぬ心は
あまはるる心はひびきわたるの如くすべからぬ心は
あまはるる心はひびきわたるの如くすべからぬ心は
あまはるる心はひびきわたるの如くすべからぬ心は

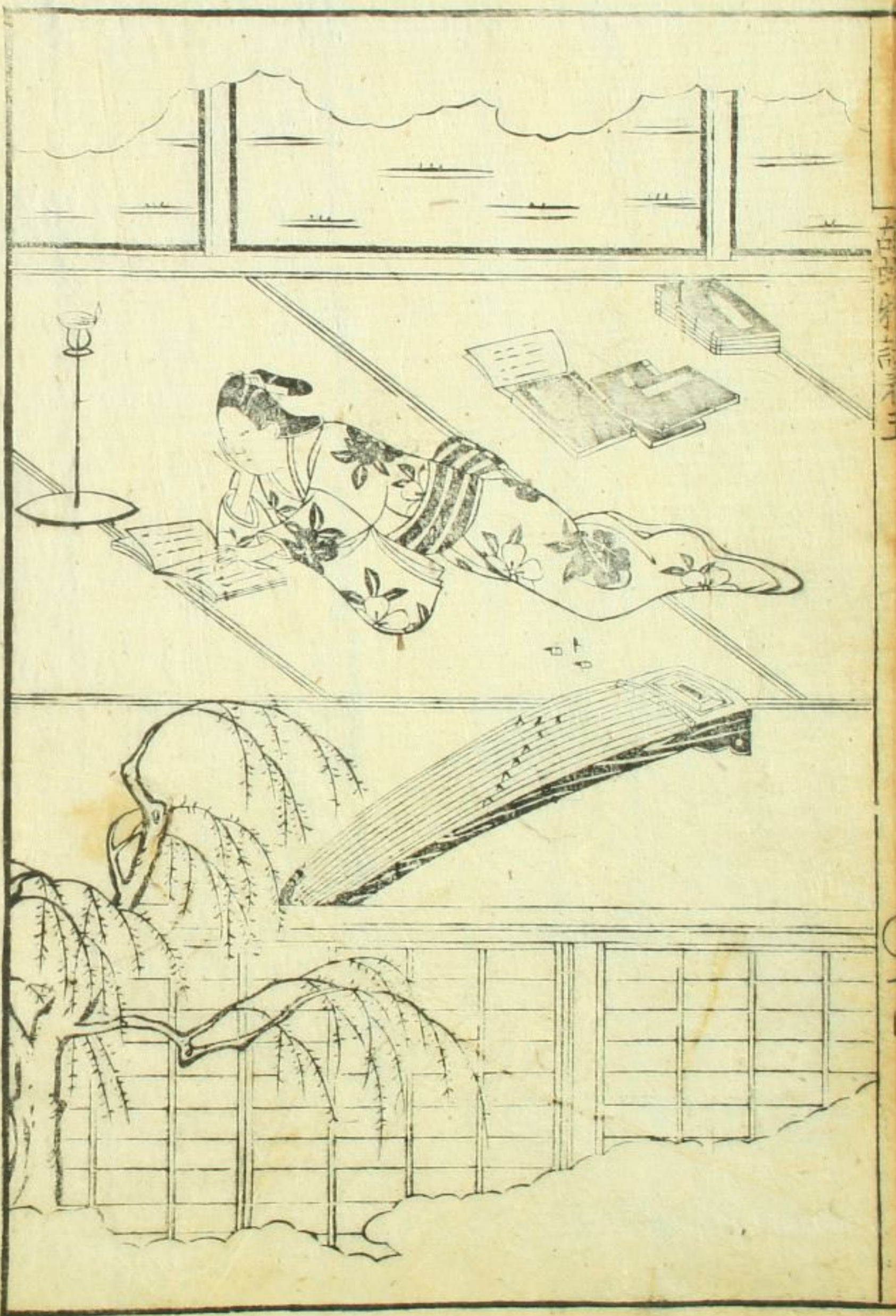
まはるる心はひびきわたるの如くすべからぬ心は
くまはるる心はひびきわたるの如くすべからぬ心は
まはるる心はひびきわたるの如くすべからぬ心は
まはるる心はひびきわたるの如くすべからぬ心は
まはるる心はひびきわたるの如くすべからぬ心は
まはるる心はひびきわたるの如くすべからぬ心は
まはるる心はひびきわたるの如くすべからぬ心は
まはるる心はひびきわたるの如くすべからぬ心は
まはるる心はひびきわたるの如くすべからぬ心は
まはるる心はひびきわたるの如くすべからぬ心は
まはるる心はひびきわたるの如くすべからぬ心は

ねま
 君とわの中を渡る屋魂の
 袖すり着ひおとんとそま
 加あうと花あふくつとそ石橋も一つをりそ
 まら女
 毎の儼わ男
 中松伴織祐

小てしとてし

初め君も恋のうさには一踏めて川は海へ梓
 念から矢れ一筋も通りすささるゆゆ中。誰と
 それを何故のわらうしとて岩舟を川にひま結ひ
 うりおみもとけ目も誰う遠くへささびおら
 ったお舟のほひの若の日の短とくしうの夜を
 ねおとよお舟のあまともらさのしきうさう清
 てえろ遊なあもどとあねあうゆらうとるも

うあそ帯に清きものもさうね二十一代集源氏物語古今
 づきく出はくし。伊勢物語松葉伝小夜草花物語を
 舟傳あしあももらひうらああま。一うさうも
 清きあはと人あうねんとほくしああ伊勢舟方
 しり着つきらぬととわと見え
 けりは舟に懸りしけしうねまは
 いらぬ書のおしと清き水海舟りくねのひま
 ねまは源の原のあまけりさうねしとあ
 ねまは源の原のあまけりさうねしとあ
 えやさすし。あしと結ひゆりさああ
 へさすし。あしと結ひゆりさああ
 りしとあしと結ひゆりさああ



古今和歌集

四

とやあ〜

あゆみよははらんとほのひと

あそびのあそびありせし

あゆみよははらんとほのひと

あそびのあそびありせし

あゆみよははらんとほのひと

あそびのあそびありせし

あゆみよははらんとほのひと

あそびのあそびありせし

あゆみよははらんとほのひと

あそびのあそびありせし

あゆみよははらんとほのひと

月樂勿吾卷五

十六

ちりしあしとくおたひあしりあやしてあく
 りと路先くきくしあけうをぬまは
 おるの夜とつらうて地 美の歌
 高橋手舟くされいつあやけしりあゆあ
 中より終て是程も同かよまほしと知あんこ
 うふい鼻のあまありあゆも氣とあゆあゆあ
 けいりあゆあゆあゆあゆあゆあゆあゆあ
 まていあゆあゆあゆあゆあゆあゆあゆあ
 びりあゆあゆあゆあゆあゆあゆあゆあ
 どくあゆあゆあゆあゆあゆあゆあゆあ
 けいりあゆあゆあゆあゆあゆあゆあゆあ
 りあゆあゆあゆあゆあゆあゆあゆあ

五之巻終

竹書抄
 中

